

人の朝、星屑の国

ひとのあさ、ほしくずのくに

イントロ



ホルン

前編

このシナリオは「獣の夜、王の目醒め」につづきます。

マスター

専任のマスターがいると遊びやすいです。

プレイヤー

好きな人数で遊んでください。プレイヤー1〜2人程度が遊びやすいです。

★舞台

剣と魔法の世界。神話の時代が終わり、人の時代が始まる頃（架空の古代）

★むかしむかし

“光の主”とケダモノの大戦争がありました。

ケダモノは“闇の森”に封じこめられ、人間たちは“光の主”を神と信じるようになりました。

けれどそれからしばらくして……。

ある嵐の夜、力なき子供たちがやってきます。星屑と名乗る彼らは、親も祖国もたず、この世界に居場所がありません。

彼らはケダモノに、自分たちの神様になってほしいとお願いします。

ケダモノは子供たちの神となり、共に理想郷をつくりはじめます。

★設定

“闇の森”に棲むケダモノ。

星屑の子供たちと共に縄張りに国をつくり、彼らの神になることになります。

イントロ予告

獲得してください

- ☐ 〈あなたは星屑たちの神となり、王国の発展に尽くしました〉

★神話時代の出来事

今から200年前（ケダモノにしてみればごく最近です）、ケダモノと“光の主”のあいだで戦争がありました。

この神話戦争でケダモノはどうしてしましたか。次の項目から選ぶか、項目を参考に創作してください。

神話戦争でケダモノは……

- ☐ ケダモノの陣営で参戦していた
- ☐ “光の主”の陣営で参戦していた
- ☐ 積極的には関与しなかったが、巻きこまれることもあった
- ☐ まだ生まれていない（親や先祖が居合わせた）

★子供たちと近づくきっかけ

嵐の夜、ケダモノの縄張りに星屑の子供たちがやってきます。どうして子供たちの神様を引き受けることになったのか、きっかけを以下の項目から選ぶか、項目を参考に創作してください。

きっかけは……

- ☐ 戦争から刺さったままの聖剣を子供たちがぬいた
- ☐ 現在の住処に封印されていたが子供たちが解いた
- ☐ ケダモノを祀る祠を子供たちが壊した・直した
- ☐ かつて従えていた信者と子供たちを重ね合わせた
- ☐ 現在従えている眷属たち（動物や妖魔）が、子供たちと仲良くなった
- ☐ 他の参加ケダモノの動向を気にして

★登場人物と言葉

★ホルン

星屑と呼ばれる孤児たちのリーダー（13歳くらい）。

タブー：星屑の子供たちを虐げる

〈ホルンはあなたに怒り、責めたてました〉

タブー：親がいないことを憐れむ

〈ホルンは怒りで我を忘れました〉

★星屑の子供たち

世界を放浪する、親を知らない孤児たち。身体のどこかに星が並んだようなひび割れの痣があり、ひとりひとりがすこし不思議な力をもっています。